

新型コロナウイルスワクチンの 予防接種実施計画

令和3年3月
宮崎県 えびの市

1. 対象者の概数

対象	医療従事者等	高齢者	基礎疾患を有する者	高齢者施設等の従事者	一般	計
人数	564人	7,991人	1,185人	282人	6,659人	16,681人

住民接種対象者：16,117人
(医療従事者は別に接種)
(16,681人－564人)

※医療従事者は、3月より県主導で実施

基準日：令和3年1月1日
人口18,811人
15歳以下2,130人

※現在承認されているファイザー社のワクチンの接種対象者は、16歳以上の者

接種順位の上位に位置づける基礎疾患を有する者について

1) 以下の病気や状態の方で、通院／入院している方

- ① 慢性の呼吸器の病気
- ② 慢性の心臓病(高血圧を含む。)
- ③ 慢性の腎臓病
- ④ 慢性の肝臓病(肝硬変等)
- ⑤ インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
- ⑥ 血液の病気(ただし、鉄欠乏性貧血を除く。)
- ⑦ 免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む。)
- ⑧ ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- ⑨ 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
- ⑩ 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)
- ⑪ 染色体異常
- ⑫ 重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態)
- ⑬ 睡眠時無呼吸症候群
- ⑭ 重い精神疾患(精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療(精神通院医療)で「重度かつ継続」に該当する場合)や知的障害(療育手帳を所持している場合)

2) 基準(BMI 30以上)を満たす肥満の方

2. 接種体制

(1) 接種場所

- かかりつけ医などの身近な医療機関での個別接種
- 西諸地区内の医療機関で接種

区分		市町	箇所数	予約先
個別接種	医療機関	えびの市	13	医療機関またはコールセンター
		小林市	25	医療機関
		高原町	3	医療機関
※集団接種	保健センター等	えびの市	1	コールセンター

※ワクチンの供給状況や接種の進捗状況を考慮し、必要があれば、下記のことを検討する。

- (1) 西諸医師会と調整を図り、集団接種を構築する。
- (2) 医療機関で集団的に実施する方法を構築する。

西諸地域新型コロナワクチン接種実施医療機関 (4.1 医療機関)

※令和3年3月末現在
変更する場合もある

えびの市	いしざわ循環器内科	小林市	池井病院	小林市	西小林診療所
	えびの眼科こだま小児科医院		池田病院		花田耳鼻咽喉科
	えびの市立病院		上田内科		ひろた内科クリニック
	えびの整形外科医院		内村病院		堀胃腸科外科医院
	えびのセントロクリニック		沖内科小児科医院		前田内科医院
	えびの第一クリニック		桑原記念病院		槇内視鏡内科医院
	京町温泉クリニック		小林市立須木診療所		宮崎医院
	京町共立病院		小林市立病院		よしむら循環器内科クリニック
	杉原耳鼻咽喉科		小林泌尿器科クリニック		和田クリニック
	丹医院		小林保養院		押川病院
	前田医院		すわクリニック		野尻中央病院
	若葉クリニック		整形外科前原病院		川井田医院
渡辺医院	園田病院	国民健康保険高原病院			
小林市	整形外科フレンドクリニック	たなか循環器内科クリニック	高原町	ふきやま霧島東麓クリニック	

※ワクチン接種の予約方法は医療機関によって異なりますので、詳細については受診券配布時にお知らせします。

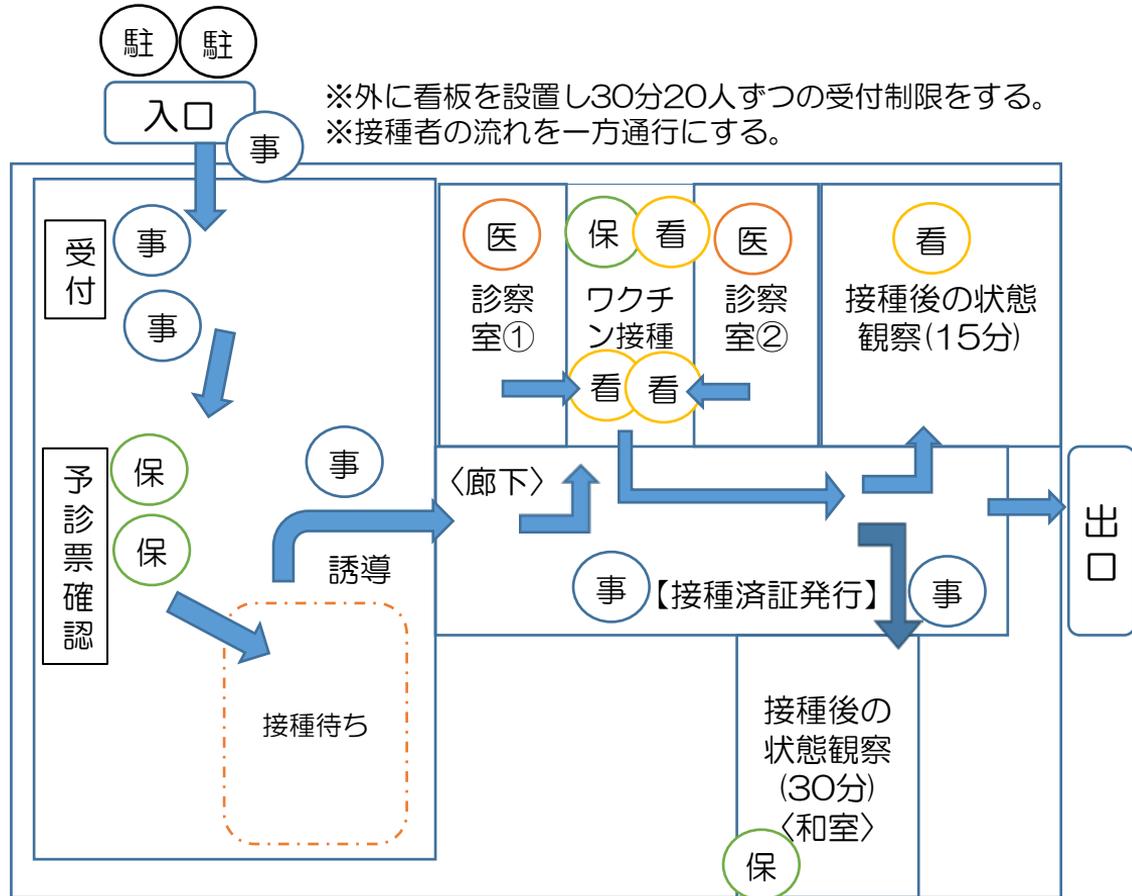
集団接種会場 えびの市保健センター(想定)

接種体制

- 期間：令和3年5月～令和4年2月
- 時間：13:30～17:00
- 会場：えびの市保健センター
- 接種人数：1回あたり80回
- スタッフ数
 - ・医師 2人
 - ・看護師：4人(医療機関2人)
 - ・保健師：4人
 - ・事務：6人
 - ・駐車場案内：2人

※医師2人の2レーンで実施
※医師一人あたり30分で10回接種、2時間で40回接種を想定

※ワクチンの供給状況や接種の進捗状況を考慮し、必要があれば、西諸医師会と調整を図り、接種体制を構築する。



(2) 接種順位

対象	接種券発送	予診票	接種期間	備考
医療従事者	接種券付き予診票にて接種		R3年3月～5月	
高齢者	市町村発行のクーポン券に接種券がついている(ワクチンの供給状況によって細かく年齢を分けて発送する可能性あり)	クーポン券と同時に2回分の予診票を配付	R3年4月～7月	施設入所者は施設で接種可
高齢者施設等の従事者			R3年6月～8月	施設高齢者と同時でもよいが、事前に市へリストを提出し、接種券付き予診票の交付を受けること。また、接種する際、施設職員の証明が必要
基礎疾患を有する者		基礎疾患は予診票で確認	R3年6月～	
一般住民 (上記以外)			R3年7月～	

※高齢者施設での接種

○入所者や施設職員に対する接種

施設に医師がいる場合

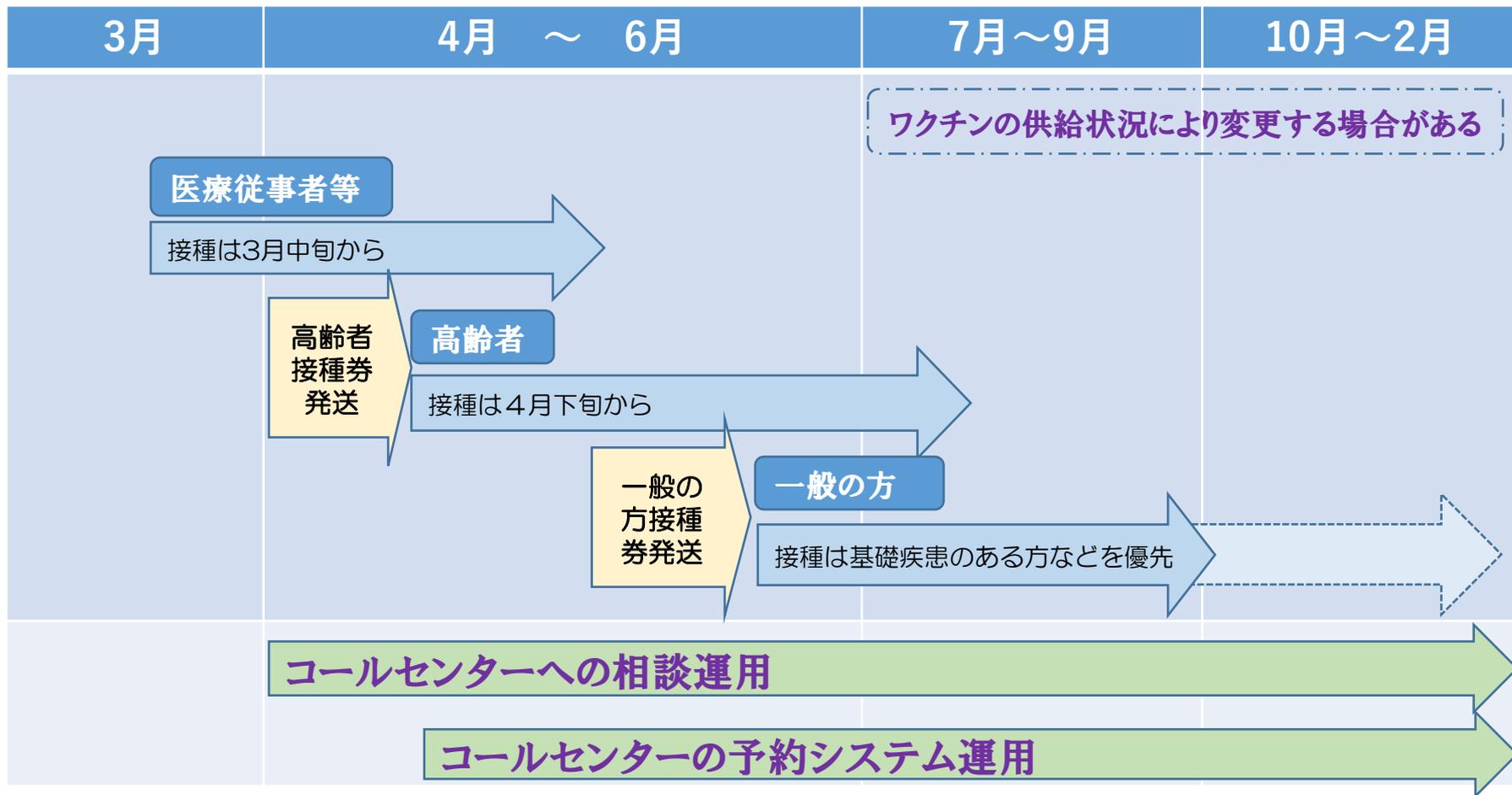
嘱託医やかかりつけの訪問
医が施設を訪問して接種

施設に医師やかかりつけ医が いない場合

医療機関の紹介など施設での
円滑な接種を市がサポート

※施設職員について、高齢者と同時期に接種券が届かないため、事前に市へリストを提出していただき、接種券付き予診票の交付を受けて接種。

(3) 接種体制: ワクチン接種スケジュール



想定するワクチン接種数

住民接種対象者:16,117人
 1人2回接種:32,234回
 想定接種率:70% 22,563回

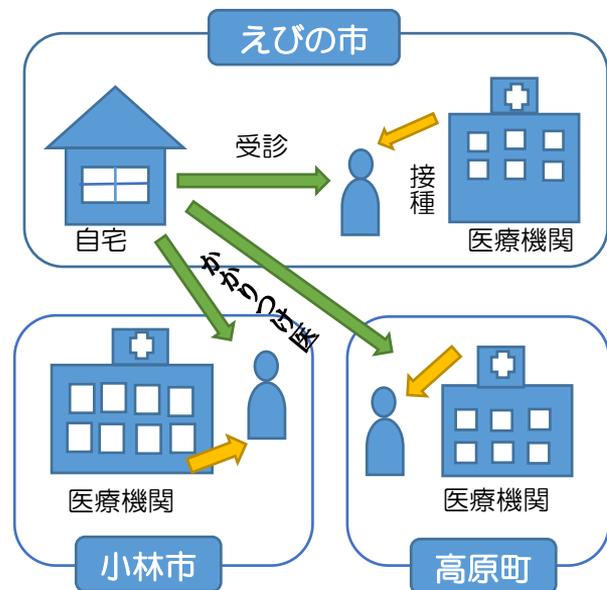
単位：回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
えびの市の医療機関	1週間の接種可能回数	487	975	975	975	975	975		
	1か月間の接種可能回数	975 (2週)	3,900 (4週)	3,900 (4週)	3,900 (4週)	3,900 (4週)	3,900 (4週)	20,475 63.5%	
小林市・高原町の医療機関								2,000 6.2%	
西諸以外の医療機関								500 1.5%	
合計 (全接種可能回数)									22,975 71.2%

接種場所の原則と例外（住所地外の接種）

原則（住民票所在地内で接種）

・住民票所在地の市町村に所在する医療機関での接種が原則だが、西諸医療圏では共同接種体制を構築した。



通常の定期接種と同様に接種できる

例外（西諸以外で接種）

・長期入院、長期入所している方等のやむを得ない事情による場合には、例外的に住民票所在地以外でワクチン接種を受けることができる。

やむを得ない事情で住民票所在地以外でワクチン接種を受ける者の例

市町村への申請が必要な方

- ・出産のために里帰りしている妊産婦
- ・遠隔地へ下宿している学生
- ・単身赴任者等

市町村への申請が不要の方

- ・入院・入所者
- ・基礎疾患を持つものが主治医の下で接種する場合
- ・災害による被害にあった場合
- ・拘留または留置されている者、受刑者等

住民票所在地以外で接種を受ける流れ

- ・接種する医療機関がある市町村が発行する「住所地外接種届出済証」を持参して接種

※郵送申請・窓口申請・WEB申請

（接種総合サイト「コロナワクチンナビ」で申請発行が可能）

申請

- ・住民票所在地以外での接種を希望する者は接種を行う市町村に「住所地外接種届出」を提出。
- ・厚労省が設けるWEBサイト（コロナワクチンナビ）上で申請できる。

届出済証の発行

- ・医療移管所在地の市町村は申請を受付。
- ・申請者に対し「住所地外接種届出済証」を発行。
- ・V-SYS上で受け付けると自動発行となる。

接種

- ・医療機関等に「接種券」と「住所地外接種届出済証」を持参し、接種を受ける。

※ワクチン接種券発送

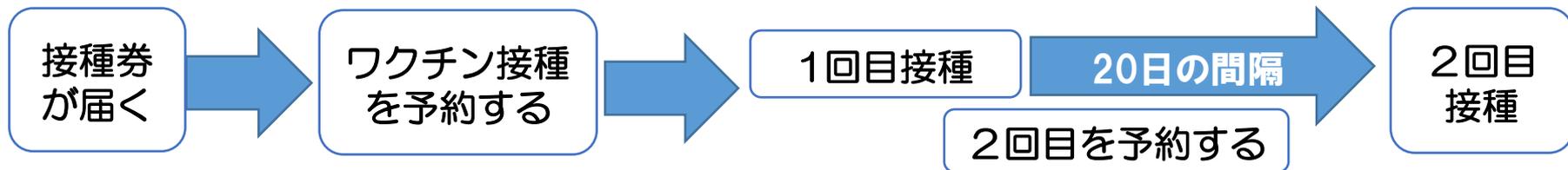
(ワクチンの供給量により変更する場合があります)

- 75歳以上の高齢者に発送（4月中旬）
- 65歳以上74歳以下の高齢者に発送（4月下旬）
- 64歳以下に発送（6月中）

◎接種券と同封するもの

- 新型コロナウイルスワクチン接種クーポン券（接種券）
- 新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ
- 新型コロナウイルスワクチン接種の予診票（2回分）
- 新型コロナウイルスワクチン予防接種についての説明書

※接種対象者の流れ



接種予約体制

◎医療機関によって予約方法が違う

○ 医療機関に直接予約

- ・ かかりつけ医療機関に直接電話等で予約する

○ コールセンター予約の場合は電話予約とWEB予約がある

- ・ えびの市コロナワクチンコールセンターに電話して予約する
- ・ QRコード、URLにアクセスして予約

予約方法

電話予約



相談・予約

受付時間9:00~17:00
土日祭日も受付可能
(年末年始除く)

えびの市コロナワクチン
コールセンター



登録

予約システム

予約情報

市が接種医療機関に
予約情報を提供する



コールセンター
で予約する医
療機関で接種
する場合

WEB予約



QRコード、URLにアクセスして予約

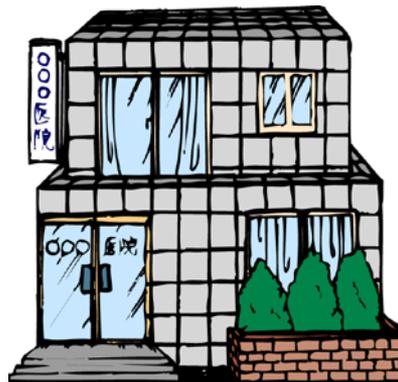
24時間受付

接種医療機関に直接予約する場合



接種医療機関に直接電話等で予約する

各医療機関によって受付時間は異なる



ワクチン接種を
受ける



※実施医療機関の業務

○事前の業務

- ・ 予約を受ける
- ・ ワクチン配分を受ける

○当日の業務

- 受付
- ・ 本人確認（運転免許証、マイナンバーカード、健康保険証等）
 - ・ 接種券、接種回数等確認
 - ・ 予診票記入確認

～【予診・ワクチン接種】～

- 接種後
- ・ 接種券とワクチンのロット番号シールを予診票に添付
 - ・ 接種済証にワクチンシール添付し医療機関名記載
 - ・ 接種者の観察（15分または30分）
 - ・ 2回目の予約を受ける（20日間隔をあける）

○事後の業務

- ・ 費用請求（西諸医師会が取りまとめ）
- ・ 副反応の対応および報告

ワクチン接種に関わるV-SYSの流れ

接種医療機関

①接種可能量をV-SYSに登録
(1クールにつき1回)

⑤分配量及び納入予定日の確認
(1クールにつき1回)
⑥接種予約受付状況の適宜更新

⑧冷蔵庫(2~8度で5日間)で保管し、
ワクチンが無駄にならないよう期間内に接種

⑨接種実績をV-SYSに入力
(1クールにつき1回)

えびの市役所

②市全体のワクチン量確定し、
V-SYSに入力

④医療機関分配量確定

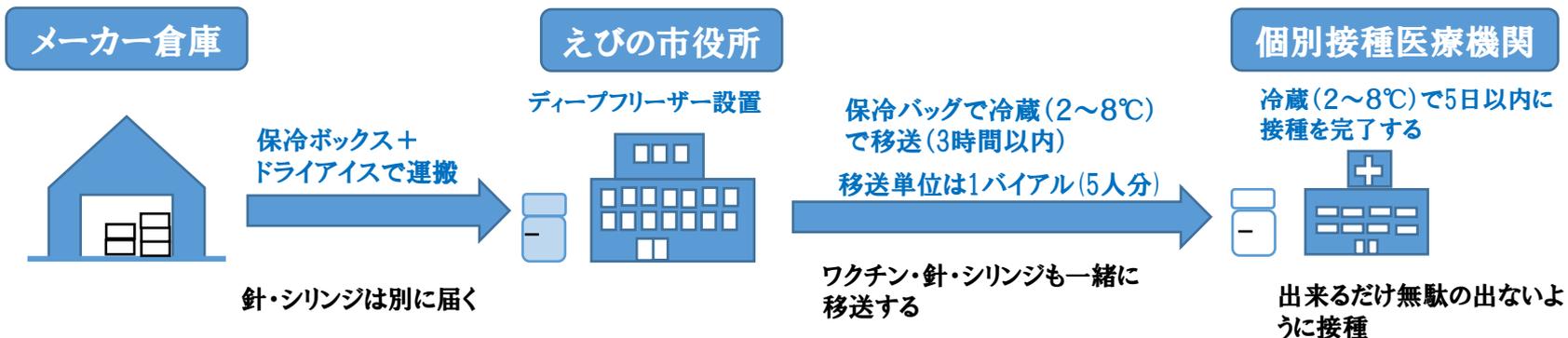
⑦各医療機関毎に割り当て、
週1~2回位、冷蔵(2~8度)で移送

宮崎県

③県内市町村毎の
バイアル数・シリンジ・注射針数確定

※V-SYSとはワクチン接種円滑化システム

ワクチンの分配・移送(ファイザー社のワクチン)



ワクチンの当面の供給量

〈国から県へのワクチン供給状況〉

4月5日の週分	4月12日の週分	4月19日の週分	4月26日の週分
2箱(1,950回分)	10箱(9,750回分)	10箱(9,750回分)	各市町村に1箱ずつ

〈県からえびの市へのワクチン供給状況〉

4月5日の週分	4月12日の週分	4月19日の週分	4月26日の週分
0	1箱(975回分)	0	1箱(975回分)

3. 住民への推進体制

(1) 住民への情報提供

- ・広報紙、ホームページ、SNSによる情報提供
- ・行政事務連絡文書(全戸配布文書)
- ・えびの市コロナワクチンコールセンターで市民の問い合わせに対応

(2) 接種医療機関の周知

- ・接種券配布時に接種医療機関の情報を同封
- ・広報紙・ホームページによる情報提供
- ・県設置のコロナワクチン副反応等コールセンターで情報提供
- ・実施医療機関にポスター掲示

(3) コールセンターでの対応

(えびの市コロナワクチンコールセンター設置)

- ・ワクチン接種全般の相談
- ・接種時期、予約方法等について
- ・ワクチン接種の予約(一部の医療機関と集団接種)

(4) 副反応の対応方法

- ・接種券発送時に県設置の副反応等コールセンターの情報提供
- ・広報紙、ホームページ等に県設置の副反応等コールセンターの情報提供
- ・接種時に副反応等、接種後の注意事項についての情報提供
- ・接種時に副反応が生じた時の相談先等についての情報提供
(県設置予定の専門的な医療機関)

相談体制について

自分の接種に関する相談
(接種時期、接種場所、接種券、予診票等ワクチン接種全般について)



えびの市コロナワクチン
コールセンター
電話：050-5445-5060
午前9時～午後5時
(土・日、祝日を含む)
4月中旬稼働予定

ワクチンの安全性・有効性、
副反応等についての相談
(医学的知見が必要な専門的な相談に対応)



宮崎県新型コロナウイルス
ワクチン副反応等コールセンター
電話：0985-26-4609
FAX：0985-26-1000
メール：fukuhannocall-miyazaki@
pref.miyazaki.lg.jp

地域医療機関
からの相談



専門的な医療機関
県設置予定

新型コロナワクチン接種推進体制

えびの市新型コロナウイルスワクチン接種推進室

令和3年2月2日設置

○設置場所：健康保険課内

○業務内容

- 1.新型コロナウイルスワクチンについての情報収集および市民への周知に関すること。
- 2.ワクチン接種の円滑な実施に向けての準備および関係機関との連絡調整に関すること。
- 3.ワクチン接種の実施に関すること。
- 4.このほか、市長が特に必要と認めること。

○組織

- 1.ワクチン接種推進室室長：健康保険課長
- 2.ワクチン接種推進室副室長：健康保険課長補佐
- 3.構成：合計21人
 - ・健康保険課 10人(課長、課長補佐兼市民健康係長、市民健康係員)
 - ・健康保険課以外 11人(総務課、企画課、財政課、市民協働課、財産管理課、介護保険課、福祉課、こども課、建設課、社会教育課、市立病院)

新型コロナワクチン接種推進業務

接種全般に関する調整

- 接種全般に関する調整
- 県、他市町との調整
- 実施医療機関との調整
- 費用請求支払事務

接種券発送等

- 広報・周知
- 接種券発送
- コールセンター(市)との調整
- 接種予約システム
- 住民票所在地以外での接種者への対応

ワクチン分配調整

- V-SYS入力に関する調整
- 医療機関へのワクチン分配
- ワクチンの配送
- 冷凍庫、冷蔵庫等の管理

接種記録に関すること

- 予診票入力
- 市町村間の情報提供
- 間違い接種時の対応

副反応に関すること

- 副反応に関する情報提供
- 副反応の相談時の対応
- 副反応疑い報告

その他

- 高齢者施設等の調整
- 集団接種等の調整
- 健康被害救済の情報提供

※ワクチンの種類と接種間隔(アストラゼネカ社とモデルナ社については薬事承認前のため未定)

	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田/モデルナ社
接種回数	2回(20日間隔)	2回(28日間隔)	2回(28日間隔)
保管温度	-75℃±15℃	2~8℃	-20℃±5℃
1バイアルの単位	5回分/バイアル	10回分/バイアル	10回分/バイアル
最小流通単位	195バイアル(975回分)	10バイアル 2バイアル	10バイアル
バイアル開封後の 保存条件	(冷蔵庫で解凍する場合は、解凍及び希釈を5日以内に行う) (室温で解凍する場合は解凍及び希釈を2時間以内に行う)融解後、接種前に生理食塩液で希釈 ・希釈後室温で6時間	(一度針を刺したものの以降) ・室温で6時間 ・2~8℃で48時間 ・希釈不要	(一度針を刺したものの以降) ・2~25℃で6時間 ・希釈不要
備考	・医療機関ではドライアイス又は超低温冷凍庫で保管 ※(ドライアイス保管は10日程度が限界) ・最大5日間冷蔵保管可(2~8℃)		医療機関では冷凍庫で保管(-20℃±5℃)